

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.178

2020. 8. 3

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（7月末現在）

岩手の署名数1万7,000筆（全国では24万筆）

コロナ禍で宣伝・署名行動など実施しづらい状況が続いていますが、各9条の会では3密を避けながら街頭や店舗前、職場での声かけなどで、少しずつ署名を集めています。できる範囲で、運動を広げていきましょう。

◇手元にある署名は、岩手県生協連までお送りください。

65人が参加

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション岩手の会」全体会開催

（略称：緊急署名岩手の会）

7月10日盛岡市勤労福祉会館にて開催。当日は、「桜を見る会」を巡り、安倍晋三首相の後援会が前日に開いた「前夜祭」は公選法などに違反するとして告発した、「『桜を見る会』を迫及する法律家の会」事務局長、小野寺義象（よしかた）弁護士の学習講演も実施。改めて、安倍政権が政治や税金、情報を私物化してきたことを確認し、その悪政や政治腐敗に対し、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障する25条など憲法を生かす政治を求め、声をあげ署名を呼びかけていこうと訴えました。

緊急署名岩手の会としては、引き続き全体での学習会やアピール行進、ミニ学習会開催の呼びかけをしていきます。地域での街頭宣伝行動の支援（当日の動員やプラカード作成など）も行いますので、希望する団体や組織は、岩手県生協連までご連絡ください。



「憲法を変えずに
憲法を生かそう」と小野寺氏

≪7月10日小野寺弁護士講演会のDVDを作成≫ **無料で差し上げます！**

地域や各団体・組織・職場などでのミニ学習会に、ぜひご活用ください。ご希望の方は岩手県生協連まで。

コラム — 「敵基地攻撃能力を考える」の「議論」は日本政府に何を期待するのか —

陸上配備型「イージス・アショア」配備中止のニュースに接し、秋田県と山口県、両県民の「配備反対」を求める奮闘には、とても感動したものであります。

しかし、その後暫くしてローカル紙上の論壇に投稿された「敵基地攻撃能力を考える」を見るにつけ、この34歳の若い投稿者は日本政府に求めるのは北朝鮮のミサイルを阻止できる「軍備の高度化」なのかと感じ、コラム子は落胆しました。ほかの方もこの投稿を目にしたと思いますが、それを一読してどのように感じましたでしょうか。

敵基地とは、イージス・アショアとは、巡行ミサイル・トマホークとは、弾道ミサイルを搭載した専用車両とは…など専門的知識を駆使しての論述には、目を見張るばかりでした。

そして、次のように結論付けていました。「日本政府はいかなる兵器をもって北朝鮮のミサイルを阻止する手段持とうとしているのか。その説明にごまかしや偽りがいいのか、国民は注視していく必要がある」と。

果たして日本国民は、「軍備増強、高度化の議論」を期待しているのでしょうか。これが投稿者の「考え」であることは、「考え」として理解出来ます。しかし、「安倍改憲」を巡る世論調査を見るまでもなく、日本国民の「考え」はどうでしょうか。

コラム子は「九条の会」の活動にも参加していることから、「軍事の議論」ではなく、日本国憲法に基づく、「平和外交で国をまもる議論」が日本国民の中に広まることを期待してやみません。(T)

8月の宣伝署名活動 7日(金)12:15~12:45 盛岡大通・野村證券前※雨天中止

「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけます。

宣伝を中心に、人との間隔を空けて行いますので、ご都合のつく方は、ご参加ください！